11　情報

学校番号	１００８

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報（前期）	単位数	１単位	年次	２年前期
使用教科書	「最新社会と情報」　（実教出版）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、課題の作成や発表等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

２ 学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報の収集・処理・表現するとともに、効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 課題作品の評価 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 課題作品の評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 課題作品の評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(中間考査まで)	表現と伝達	○タイピングの基本 ○ワープロソフトの使い方 ○文書の作成方法 ○対象者を意識した文書の作成	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:タイピングやワープロソフトの基本に興味をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:パソコンやワープロソフトを使用する利点や問題点について考えることができる。 c:ワープロソフトを用いて、対象者に情報を伝わるようにまとめることできる。 d:ワープロソフトでの表現方法、情報の伝わり方を理解している。	授業観察 ワークシート 課題の相互評価
前期(期末考査まで)	情報モラル 法規とセキュリティ	○タイピング練習 ○プレゼンテーションソフトの使い方 ○情報モラルについて ○著作権について ○情報セキュリティについて ○情報の伝え方 ○スライドを用いての発表	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:情報モラルについて関心をもち、情報機器を安全に活用しようとしている。 b:情報システムや提供されるサービスの活用のあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c:効果的に情報を共有するため、情報通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 d:情報の及ぼす影響について理解し、安全に活用するためのセキュリティ対策について理解している。	授業観察 ワークシート 課題の相互評価 発表の相互評価

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。